

2020年6月1日



グローバル協力訓練枠組み5周年に係る共同声明

2015年6月1日、台湾がグローバルな問題の解決に貢献し、その専門知識を地域全体のパートナーと共有できるプラットフォームを提供するために、グローバル協力訓練枠組み（GCTF）が設立された。台湾は頻りに国際機関から排除されており、世界は台湾の人道援助、技術ノウハウや民主の成功例としての豊かな経験を共有する機会を失っている。GCTFのワークショップを通じて、米国在台協会が台湾のパートナーとなり、また昨年からは日本台湾交流協会もパートナーとなることで、台湾の持つ専門知識をインド太平洋および世界中の国々と共有することを可能としてきた。

GCTFの成立5周年に際して、このプラットフォームが多くの方法で世界の重要な課題に取り組み、政府部門、民間部門、市民社会のキャパシティビルディングに貢献してきたことを誇りに思う。同時に、あらゆる地域の数十ヶ国から参加した数百人の参加者に広範なトレーニングを提供してきた。このトレーニングは、公衆衛生、エネルギー安全保障、災害救援、法執行、メディアリテラシー、女性のエンパワーメントなど、さまざまな分野に亘っている。

この三者のパートナーシップをさらに強化するために、次の分野でのさらなる協力を追求する。

- 台湾外で開催するイベントを増やすなど、GCTFワークショップの頻度、規模、範囲を拡大する。
- 共催プログラムを含む、他の有志国からの深いレベルと幅広い参加を展開する。
- 台湾外交部北米司にGCTFの事務局としてGCTFタスクフォースを設置する。
- GCTF同窓会ネットワークを立ち上げ、GCTFに参加したことのある参加者のためのネットワークを設立、拡大し、同窓会を組織する。

2020年6月1日

この5年間に達成してきたことは誇るべきことではあるが、任務の完了まではまだ遠い。世界中の多くの人々に恩恵をもたらしてきたこのパートナーシップを継続し、拡大していくことを楽しみにしている。

外交部

部長 吳釗燮

米国在台協会

所長 ブレント・クリステンセン

日本台湾交流協会台北事務所

代表 泉裕泰